

総務教育常任委員会資料

(平成23年3月9日)

【件名】

- 1 教員免許更新手続の進捗状況について（小中学校課）…………… 1
- 2 平成23年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（1月末現在）について
（高等学校課）…… 2
- 3 平成24年度県立高等学校の学科改編について（高等学校課）…………… 4
- 4 第66回国民体育大会冬季大会スキー競技会における鳥取県選手団の成績について
（スポーツ健康教育課）…… 6

教育委員会

教員免許更新手続の進捗状況について

平成23年3月9日
小中学校課

免許更新制(平成21年4月～)導入後、最初の修了確認期限(平成23年3月31日)を迎えるにあたり、申請締め切り後(平成23年1月31日)の状況を報告するもの。

1 平成22年度中に更新が必要な者

現職教員(教諭、養護教諭、講師)のうち、以下の生年月日の者

- ・昭和30年4月2日～昭和31年4月1日
- ・昭和40年4月2日～昭和41年4月1日
- ・昭和50年4月2日～昭和51年4月1日

2 更新手続の種類

(1) 更新講習修了確認

- ・大学等において30時間の講習の課程修了
- ・次の修了確認期限(10年後)まで持っている全ての教員免許状が有効

(2) 免除

- ・教員を指導する立場にある者や優秀教員表彰者など一定の条件を満たす者

(3) 延期

- ・産休・育児休業や教員免許を取得して10年未満といったやむを得ない事由により更新講習の課程を修了できないと認められるとき
- ・今年度に限り、平成23年1月31日までに30時間の講習の受講を終えることができない者は、申請締め切りを2ヶ月延期することが可能(1/31→3/31)

3 鳥取県における更新手続の状況

免許状更新講習の修了確認申請状況(平成23年2月1日現在) (単位:人)							
設置者	平成22年度中に更新が必要な現職教育職員						
	申請済(※1)					未申請(※2)	
	免許状更新講習の修了確認申請者	免許状更新講習の受講免除申請者	修了確認期限の延期申請者		退職予定者	退職予定以外の者	
		5/31までの範囲	左記以外				
国立(※3)	9	1	8	0	0	0	0
公立(※4)	596	88	463	3	40	2	0
私立(※5)	49	38	10	0	0	1	0
合計	654	127	481	3	40	3	0

(※1) 申請済は更新講習修了確認及び免除、産休・育児休業等の延期手続を行った者である

(※2) 未申請者はすべて退職予定者であり、(退職後教壇に立つ予定がないため)更新を希望していない者である

(※3) 国立学校は鳥取大学附属幼・小・中・特別支援学校

(※4) 公立学校は、公立幼・小・中・高・特別支援学校

(※5) 私立学校は私立幼・中・高等学校

4 今年度に行った更新手続に係る周知等

年月日	周知の方法
平成22年11月8日	教員免許更新制の申請手続にかかる周知について関係者に文書通知 【概要】 ・修了確認申請受付期間の徹底 ・免除対象者へ申請時期を逸脱しないよう注意喚起 ・小中学校課ホームページへの申請様式の掲載
平成22年11月12日	教員免許更新制に係る更新講習の受講等及び免許状の失効等に関する取扱いについて関係者に文書通知 【概要】 ・免許状更新講習の受講等に係る留意事項 ・免許状の失効に伴う身分上の効果
平成22年11月25日	「教員免許更新のお知らせチラシ」を作成し、ホームページや市町村教委を通じて全校に送付(別添資料参照)

5 免許状が失効した場合の取扱は以下のとおり(平成22. 11. 11文科省通知)

校種	免許状の失効に伴う身分上の効果
公立学校等	・教育職員を失職する ・地方公務員としての身分も喪失する
国立学校及び私立学校	・教育職員として勤務し続けることはできない ・ただし、免許状の失効により、所属法人の「職員」としての身分を引き続き有することとなるかどうかは、各雇用者との個別の雇用契約や就業規則に照らして判断されることになる。

平成23年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（1月末現在）について

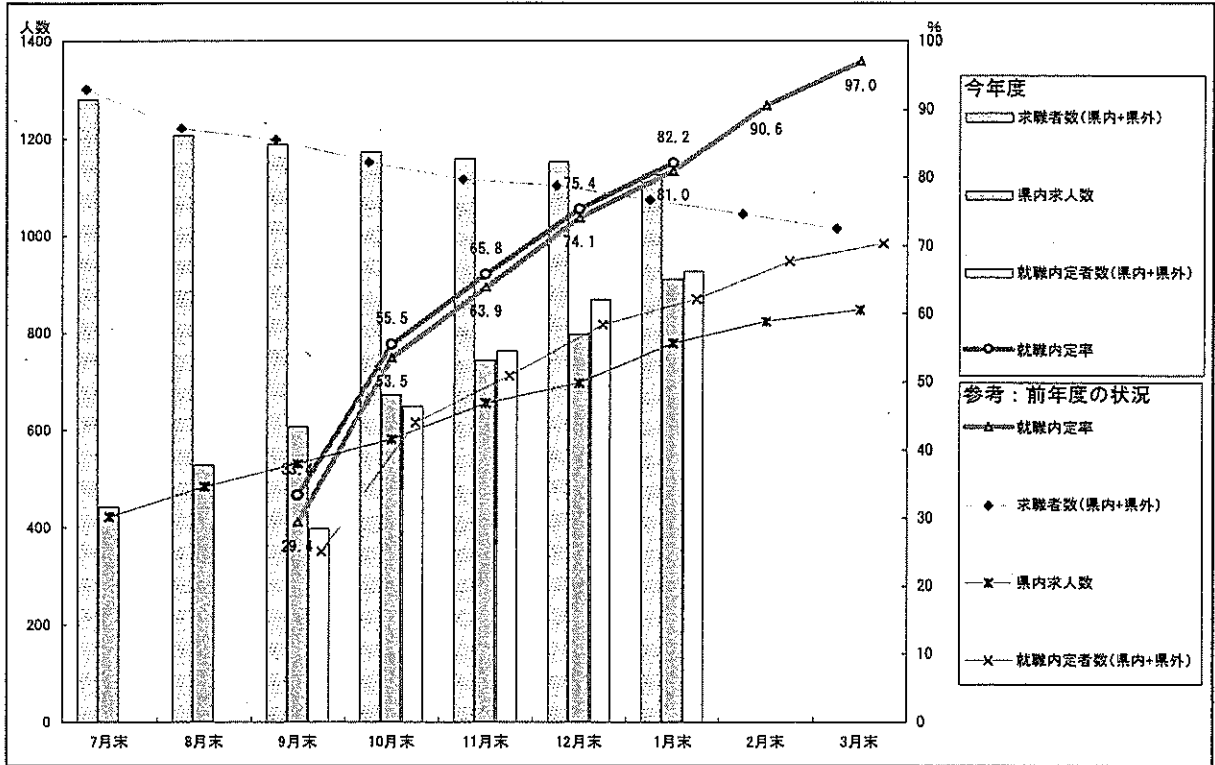
平成23年3月9日

高等学校課

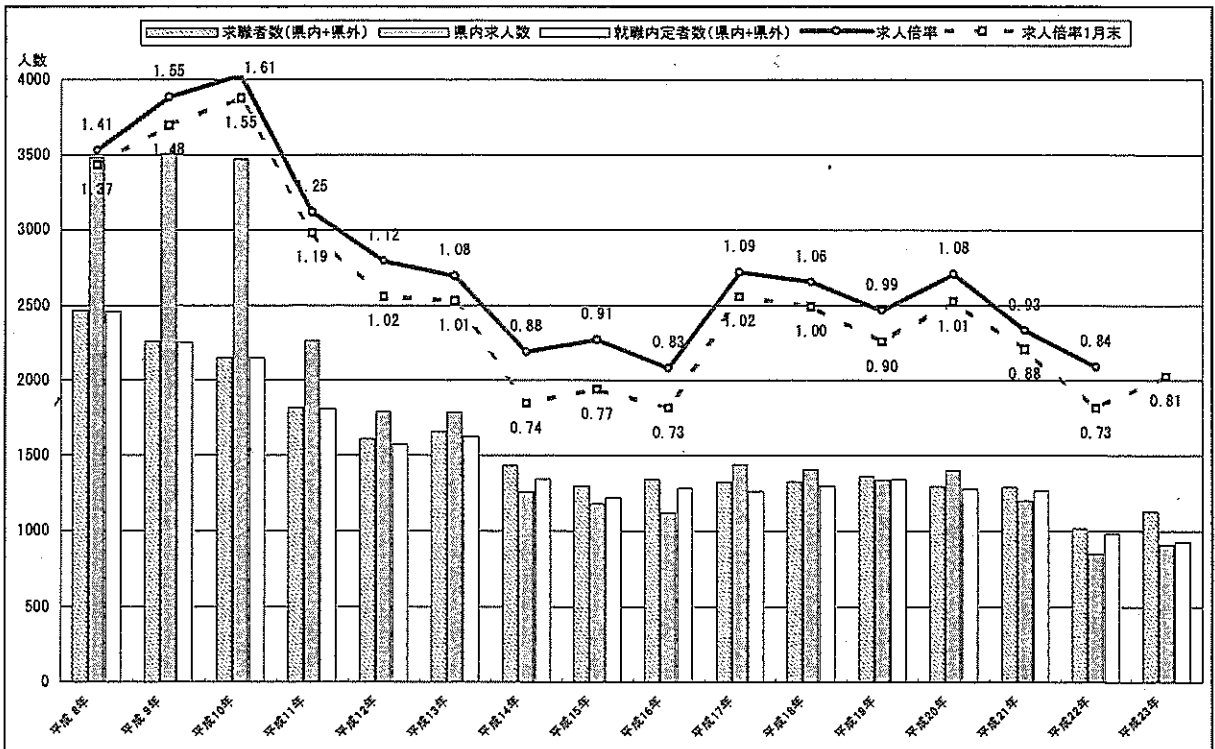
1 厚生労働省の基準による調査

全日制高等学校、定時制高等学校、特別支援学校高等部及び米子北高等学校看護専攻科において、平成23年3月卒業予定者のうち公共職業安定所または学校を通して求職している者のみを対象とした調査。

(1)平成23年3月新規高等学校卒業者の就職内定率等の推移



(2)平成8年以降の求職者数、求人数、就職内定者数、求人倍率の推移(3月末)



(3) 求職者の状況

- ・求職者数は1,126人で、前年同期に比べ4.7%、実数で51人の増加。
- ・卒業予定者に占める求職者の割合(就職希望率)は20.0%で、前年同期に比べ1.0ポイントの上昇。

項目 年月	卒業予定者(人)			求職者数(人)			就職希望率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成23年1月末	5,630	2,861	2,769	1,126	634	492	20.0	22.2	17.8
平成22年1月末	5,655	2,873	2,782	1,075	589	486	19.0	20.5	17.5
平成22年3月末	5,634	2,869	2,765	1,015	572	443	18.0	19.9	16.0

- ・県内就職を希望する求職者は878人で、前年同期に比べ4.6%、実数で39人の増加。
- ・求職者全数に占める県内就職を希望する求職者の割合は78.0%で、前年同期に同じ。

項目 年月	県内就職を希望する求職者(人)				県内就職希望率(%)			
	計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成23年1月末	878	293	172	413	78.0	83.0	77.8	74.8
平成22年1月末	839	320	148	371	78.0	80.4	75.1	77.3
平成22年3月末	785	291	145	349	77.3	79.1	76.3	76.4

【参考】求職者数(県内・県外)の推移

項目 年月	求職者数(人)			求職者の構成比(%)	
	計	県内	県外	県内	県外
平成23年1月末	1,126	878	248	78.0	22.0
平成22年1月末	1,075	839	236	78.0	22.0
平成21年1月末	1,334	1,004	330	75.3	24.7
平成20年1月末	1,337	1,043	294	78.0	22.0

(4) 求人の状況

- ・県内求人数は911人で、前年同期に比べ16.8%、実数で131人の増加。
- ・県内求人の求人倍率は0.81倍で、前年同期に比べ0.08ポイントの上昇。
- ・県外からの連絡求人は前年同期に比べ12.0%、実数で48人の減少。

【参考】

項目 年月	県内求人数 (人)	求人倍率 (倍)	【参考】		
			県外からの 連絡求人(人)	県内就職希望者 の求人倍率(倍)	県外就職希望者 の求人倍率(倍)
平成23年1月末	911	0.81	353	1.04	1.42
平成22年1月末	780	0.73	401	0.93	1.70
平成22年3月末	848	0.84	401	1.08	1.74

* 求人倍率は、県内求人数を求職者全数で割ったもの。
県内就職希望者の求人倍率は、県内求人数を県内就職を希望する求職者数で割ったもの。

(5) 就職内定者の状況

- ・就職内定者数は926人で、前年同期に比べ6.3%、実数で55人の増加。
- ・就職内定率は82.2%で、前年同期に比べ1.2ポイントの上昇。

項目 年月	就職内定者数(人)				就職内定率(%)			
	計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成23年1月末	926	281	196	449	82.2	79.6	88.7	81.3
平成22年1月末	871	303	171	397	81.0	76.1	86.8	82.7
平成22年3月末	985	355	185	445	97.0	96.5	97.4	97.4

- ・県内就職を希望する求職者の就職内定率は78.8%で、前年同期に比べ1.6ポイントの上昇。

項目 年月	県内・県外別、地域別就職内定率(%)											
	計	県内		東部		中部		西部		県外		
平成23年1月末	82.2	78.8	94.4	79.6	77.1	91.7	88.7	86.0	98.0	81.3	77.0	94.2
平成22年1月末	81.0	77.2	94.5	76.1	71.6	94.9	86.8	84.5	93.9	82.7	79.2	94.5
平成22年3月末	97.0	96.2	100.0	96.5	95.5	100.0	97.4	96.6	100.0	97.4	96.6	100.0

以上のデータは、鳥取労働局職業安定部による

平成24年度県立高等学校の学科改編について

平成23年3月9日
高等学校課

校名	平成23年度		平成24年度		変更理由
	大学科	小学科	大学科	小学科	
鳥取工業	工業④ 理数工学①	機械① 電気① 制御・情報① <u>建設工学①</u> <u>建築コース</u> <u>土木コース</u> 理数工学①	工業④ 理数工学①	機械① 電気① 制御・情報① <u>建設工学①</u> 理数工学①	1年次には、建築分野と土木分野の基礎的な内容を学習した上で、2年次以降に自らの興味・関心や適性等に応じて建築及び土木の専門分野を選択して学習することができるようにするため、 <u>コース制を廃止</u> する。

これまでの経緯と今後のスケジュール（案）

時 期	内 容
平成21年2月	県教育審議会答申 ・生徒減少期をきめ細かな指導ができる好機ととらえ、各学校の実情に応じて学級定員を減じ、多様な学校、学科を維持すべき
10月～11月	パブリックコメント・県政電子参画アンケート ・普通科系学科の設置割合を増やすべき（総合学科は賛否両論） ・生徒減少には、学級定員減で対応し、きめ細かな指導を実施すべき ・新たな学科を設置するより、既存の学科を充実すべき
平成22年1月	平成24年度以降の学科改編は、国の学級編制基準の見直し状況を見てから判断することとし、検討スケジュールを遅らせる
8月	国の学級編制基準の見直し案公表（学級定員減は、義務教育のみ）
9月～	関係部局との意見交換会を実施
平成23年2月	
3月	県議会常任委員会に平成24年度の改編計画案を報告 定例教育委員会で平成24年度の改編計画を決定
平成23年4月～	雇用情勢や地域ニーズの変容により、さらに検討する必要性が生じたため、今後、平成30年度までの改編の基本的な方針を検討し、パブリックコメントを実施する等、幅広く意見を聞きながら決定する。 検討にあたっては、時代の変化に対応した学科の在り方、学力向上のための方針等についても議論する。 ＜検討内容＞ ・県が戦略的に取り組む新しい産業分野などで必要とされる人財を育成するため、新学科の設置等 ・鳥取県の状況に応じた学科の在り方 ・生徒減少に対応した学級定員減、学級減の必要性等

第66回国民体育大会冬季大会スキー競技会における鳥取県選手団の成績について

平成23年3月9日
スポーツ健康教育課

- 1 会期・開催地 平成23年2月12日(土)～15日(火) 秋田県鹿角市
2 派遣人員 44名(本部役員10名、監督3名、選手29名、トレーナー2名)
3 競技成績

競技・種目		種別	エントリー数	出走順	氏名	順位	記録		競技得点
ス キ	ジャイアント スラローム	成年男子A	117	66	山根 一浩	56	58秒61		
				85	今川 雅大		DNF		
		成年男子B	99	50	川上 拓磨	45	1分07秒86		
		成年男子C	123	38	吉村 真徳	59	1分15秒67		
		成年女子A	87	59	今川恵里加		DNF		
				78	岸本 千幸	38	1分09秒29		
		少年男子	186	125	大藤 翔太	41	1分01秒21		
				103	山本 啓太		DNF		
				159	戸田ひかり	51	1分02秒04		
				76	青砥 童心		DNF		
	少年女子	128	185	小谷 峻慈		DNF			
			171	山本 悠司	73	1分03秒62			
			76	下村 彩恵	35	1分06秒52			
			121	建部 綾佳	73	1分12秒42			
	クロス カントリー	成年男子A	85	65	加藤 郁海	49	29分42秒9		
				35	渡部 和生	50	29分57秒5		
				13	木村 広輝	64	31分29秒3		
		成年男子B	45	38	川端 大介	16	30分01秒1		
				44	宮脇 宏和	6	13分28秒1		3
		成年男子C	45	24	岩波 昭宏	17	14分30秒7		
30				山形 陽子	26	15分58秒2			
少年男子		136	120	田邊 大成	79	31分28秒2			
			97	佐伯 健太	73	31分00秒3			
			73	木村 隼人	117	35分00秒7			
少年女子	72	21	田邊 智夏	65	19分49秒0				
		38	佐伯 美幸	44	17分06秒7				
		5	田邊 悠梨	69	20分15秒6				
成年男子 リレー	24	1走	加藤 郁海	20	18	25分52秒0	1時間51 分37秒4		
		2走	渡部 和生	18		27分27秒6			
		3走	岩波 昭宏	17		28分50秒8			
		4走	川端 大介	16		29分26秒9			
合			計					3	

※「DNF」とは途中棄権(Did Not Finish)のこと。

4 天皇杯成績

スキー競技天皇杯順位 21位 スキー競技皇后杯順位 17位

区分	男女総合成績				女子総合成績			
	参加得点	競技得点	合計得点	順位	参加得点	競技得点	合計得点	順位
スキー	10 (10)	3 (0)	13 (10)	21位 (25)	10 (10)	0 (0)	10 (10)	17位 (18)
冬季大会 総合成績	30 (30)	3 (0)	33 (30)	33位 (32)	20 (20)	0 (0)	20 (20)	24位 (25)

※ () 内の数字は、前年度の状況。

※ 冬季大会総合成績は、スケート、アイスホッケー競技会の成績を含む。